



開通パレード



開通式(テープカット・くす玉開き)

北近畿豊岡自動車道

春日和田山道路 (氷上IC ~和田山JCT・IC間) 開通

北近畿豊岡自動車道について

北近畿豊岡自動車道は、豊岡市を起点とし丹波市に至る総延長約70kmの高規格幹線道路です。

広域的には、既存の近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路及び計画中の鳥取豊岡宮津自動車道と接続することにより、兵庫県北部地域の高速交通ネットワークを形成し、但馬地域と阪神地域、播磨地域への連携強化が図られます。

また、災害時の代替路の確保、緊急医療ネットワークの形成、生鮮食品や地場産業の輸送路の強化、観光産業への支援など地域の活性化に寄与する役割を担っています。

北近畿豊岡自動車道 春日和田山道路

7月22日(土)、北近畿豊岡自動車道春日和田山道路(氷上ICと和田山JCT・IC間)が開通しました。春日和田山道路は、丹波地域の春日和田山道路Iと朝来地域の春日和田山道路IIで構成される延長31.7kmの一般国道の自動車専用道路です。

春日和田山道路Iは、近畿自動車道敦賀線の春日インターチェンジから遠阪トンネル有料道路に接続する区間であり、延長24.4kmの自動車専用道路です。

また、春日和田山道路IIは、遠阪トンネル有料道路との接続部から播但連絡道路の和田山インターチェンジに接続する区間であり、延長7.3kmの自動車専用道路です。このうち、今回開通したのは、氷上インターチェンジから、遠阪トンネル有料道路を経由して、和田山ジャンクション・インターチェンジに至る延長24.8kmの区間です。



7月22日(土)、山陽PA・道の駅「但馬のまほろば」で関係者ら約400人が出席して開通式が行なわれました。

☆今回の開通により…

- 豊岡市から神戸(県庁)までの所要時間が約20分短縮されます。
- 時間短縮による経済効果は年間187億円と予想されます。
- 生鮮食品の物流の迅速化や観光地へのアクセスの改善が図られ、地域活性化につながります。

☆朝来市では…

大阪・神戸方面への高速物流とスムーズな人の移動が確保されることになり、この利点を商工業・農業・観光といった様々な産業で最大限生かしていく必要があります。

また、開通と同時にオープンした道の駅「但馬のまほろば」を本市の情報発信基地として大いに活用していく必要があります。